

「自分テスト」をたくさんやってみませんか。

勉強は、「覚える」ことを大切にしてください。

そして一つひとつ、

「今書いた英単語、ちゃんと頭に入ったかな？」

「本当に覚えているかな？」

こう自分に、厳しく問いかけてほしいのです。

この「問いかけ」を、単語1つごとにやってほしいのです。どうやって？覚えたかどうか、すぐに確認できる方法があります。それは、「自分テスト」です。

自分テストとは、こんな流れです。

単語を2回練習したら、3回目は何も見ないで余白に書いてみる。という具合です。

中2の秋に、三角形の合同条件を覚えたら、何も見ないで3つを紙に書いてみる。という具合です。

数学の文章題にも、自分テストは有効です。いきなり解説を読むのも手です。

数学などの文章題にも、自分テストが使えます。文章題を解いたら、解説を読みますよね。よく読んだら、「もう一度すぐに」最初からやってみるのです。きっとさっきより、スムーズに進み、自信になると思います。

ちなみに、文章題の「分からないところ」とは、きっと流れです。ですので、解く前に、いきなり解説ページを読むのも有りです。

「それじゃあ、解けちゃうじゃないですか？」と思いませんか。解けちゃダメですか。

「解けちゃう」ということは、やり方を覚えることができ、それを再現できている。ということです。数学の文章題対策として、実際に私の塾生が取り組み、成果を出している方法です。文章題が苦手な人には、お勧めしたいです。

☆1 This is , That is の文

現在の文で、主語が三人称単数 (I, you 以外の1人) のとき、be 動詞は is とし、一般動詞には s または es をつける。

(例) He likes TV. (例) Does he play tennis? (例) He doesn't like TV.

近いものを指すとき、This is ディス イズ ~ : これは~です。

遠いものを指すとき、That is ザット イズ ~ : あれは~です。

問題1 文を完成させなさい。

(1) This is a pen. (2) これは本です。

[]ペンです。 _____ a book.

(3) That is a pen. (4) あれは犬です。

[]ペンです。 _____ a dog.

(5) あれは学校です。を、2パターンで書きなさい。

_____ a school. _____ a school.

疑問文 (質問文) のときは、逆になる。Is this イズ ディス ~? : これは~ですか。

疑問文 (質問文) のときは、逆になる。Is that イズ ザット ~? : あれは~ですか。

問題2 疑問文 (質問文) を完成させなさい。

(1) This is a book. (これは本ですか、に。) (2) That is a dog. (あれは犬ですか、に。)

_____ a book? _____ a dog?

四角語句を、線の上に練習するんですよ。



英文には、必ず動詞が1つある。つまり、be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。

That is は、短縮して、1語で表すことができる。

That is → That's ザッツ

(例) あれは、本です。

That is a book.

That's a book.

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

This is a pen. (これは、ペンです。)

疑問文にすると、逆になる。

Is this a pen?

(これは、ペンですか。)



四角語句を、線の上に練習するですよ。

☆1 This is , That is の文

英文は、「主語+動詞～」でできている。
(例) **The book on the desk is mine.** (机の上にある本は、私のものです。)
これ全部が主語 動詞 ※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

否定するときは、is のあとに not をつける。

This is not ディス イズ ナットウ (ノットウ) : これは～ではありません。

That is not ザット イズ ナットウ (ノットウ) : あれは～ではありません。

not について。
発音は、「ナットウ」が基本ですが、
会話では、
トウをほとんど言わずに、
「ナッ」、のように、
言うことも多いです。

is not は、短縮すると…
is not → isn't イズントウ
(例) これは、ペンではありません。
This is not a pen.
This isn't a pen.

問題3 否定文を完成させなさい。

- (1) これは、ペンではありません。
_____ a pen.
- (2) あれは、犬ではありません。
_____ a dog.
- (3) これは、本ではありません。2パターンです。 (4) あれは、机ではありません。2パターンです。
This _____ a book. _____ not a desk.
This _____ a book. **That** _____ a desk.

🌸 **人の場合**、「これは～です」「あれは～です」ではなく、
こちらは～です **あちらは～です** のように訳すとよい。

That is は、短縮すると…
That is → That's ザッツ
(例) あれは、本ではありません。
That is not a book.
That's not a book.

- (5) あちらは、加藤さんではありません。※3パターンで答えなさい。
_____ Mr. Kato.
That _____ Mr. Kato. _____ not Mr. Kato.

「～さん」について。
● 男の人の苗字の前に。
Mr.ミスター
Mr.Kato : 加藤さん
● 女の人の苗字の前に。
Ms.ミズ
Ms.Kato : 加藤さん

人の名前の最初は、大文字にします。

間違えたら、すべてパーでしょうか。そんなことはありません。

自分の得意・不得意だけでなく、ライバルたちの得意・不得意にも影響を受けるのが、勉強の成績です。ですので、自分の頑張りが、そのまま結果につながるとは限りません。

何が言いたいのか？勉強とは、テスト結果と同じくらい、途中も大事にしよう!ということです。

そもそも、あなたたち学生にとっては、「勉強を頑張る」ということ自体が目的なのです。成績アップは、あくまで副産物なのです。

野球では、たとえ三振しても、ピッチャーに10球投げさせたなら、いい仕事をしたことになりますよね。だから、結果だけに意識を向けずに、それまでの取り組みを、大切にしてください。毎試合4打数3安打なんて、ないのですから。



出典「さよなら私のクラマー」
新川直司氏 講談社 より

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。



四角語句を、線の上に練習するごんすよ。

be 動詞：です。います。あります。
主語が複数なら are、三人称単数は is。

☆1 This is , That is の文

英単語の覚え方：ローマ字読みで覚える。
book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。
これを2回、紙に書く。そして3回目は、何も見ないで書いてみよう(自分テスト)。

「あなたは忙しいですか。」「太郎はどこにいますか。」「私の本はどこにありますか。」のように、
「ですか」「いますか」「ありますか」と、質問するときは、be 動詞+主語の順番になる。まとめると…

～ですか、いますか、ありますか は、 **be 動詞+主語～?** になる。

Am is アー
am is アー
are を、
be 動詞と言います。

勉強は、基本100%を目指しましょう。

勉強って、何をしたらいいかわからない…
そんなときは、「基本を100%ものにする。」
まずはここを目指してほしいです。

「基本を極める」。そうすればテストで、50点取れます。中学生が受けるテストは、基本50点、標準30点、難問20点のように、点数配分が決まっています。

「それ本当？」と思いますよね。問題作成者の立場で考えてみますと、よく分かります。難易度を調整しないと、平均点がどれくらいになるか読めないからです。ちなみに、標準や難問レベルの問題も、基本をもとに作られています。ですので、誰もがまずは、「教科書の太字や、ワークのA問題レベルを完璧にする」ことを目指す。ここから始めることをお勧めします。

「鎌倉時代の文化は大丈夫」「教科書の英単語は全部書ける」というように、学習内容を細分化して考えることがポイントです。



出典「さよなら私のクラマー」
新川直司氏 講談社 より

問題4 疑問文(質問文)にしなさい。

(1) This is a pen. (これはペンですか、に。) (2) That is a book. (あれは本ですか、に。)

_____ a pen? _____ a book?

(3) You are Tom. (あなたはトムですか、に。)

_____ Tom?

(4) This pen is long. (このペンは長いですか、に。)

_____ long?

(4)について：**This pen**が主語。つまり、
主語は一語とは限らない。ちなみに主語とは…

be 動詞前の語句は、全てがセットで主語である。

(5) This dog is Shin.

_____ Shin?

(6) That pretty dog is Pochi.

_____ Pochi?

質問文の訳：あの [_____]。

質問文のときの主語が、わかりづらい時(応用)。

This pen is pretty. : **このペンは**、かわいいです。

このようなふつうの文ならば、**is**があるので、**This pen**が主語、と分かる。

でも、**Is this pen pretty?**のように、すでに質問文の場合、「どれが主語なの?」と、悩むかもしれない。そんなときは…

最後の語句(今回は **pretty**)以外の語句を、1つ1つ主語かも、と考え、訳してみる。

△これは、ペン可愛いです。←**this**が主語。

○このペンは、可愛いです。←**this pen**が主語。

中1のうち、このように考えて判断するのも手です。

● 英文の主語とは。

Am is アー
am is アー
are の前にある語句すべてを、まとめてセットで「主語」と考えます。

Taro and Jiro are ~ :
太郎と次郎は、~です。
ならば、**Taro and Jiro**が、主語です。

挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

ago. Umami
and is known

- already [ɑ:trɛdɪ]
- become [bɪkʌm]
< become
- be known to ~
~に知られている

be interested in
~に興味がある



scientist 科学者
discover 発見する

more than
~以上

hundred 百
ago ~前

京都の科学の弁当



出典「さよなら私のクラマー」
新川直司氏 講談社 より

☆1 This is , That is の文

英単語の覚え方：教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこみます（予習で）。そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すでにあることで、復習や単語の暗記がすぐできます。左が例です。

四角語句を、線の上に練習するでござすよ。



私（塾長）も、32ページの単語テスト、5分後にするよ。と言いやすいです。

これは、～ではありません。のように、否定するときは、

be 動詞のあとに not ナットウ（ノットウ）をつける。

アム イス アー
am is areを、
be 動詞と言います。

is not は **isn't** イズントウ are not は **aren't** アレントウ I am not は **I'm not** アイムナットウ となる。

問題5 否定文にきなさい。

(1) This is a dog.

This _____ a dog.

This _____ a dog.

(2) That is a pen.

That _____ a pen.

That _____ a pen.

(3) You are a boy.

You _____ a boy.

You _____ a boy.

(4) This pen is pretty.

This _____ pretty.

This _____ pretty.

(5) Tom and Aki are happy.

Tom and Aki _____ happy.

主語が2人いるときは、
be 動詞は **are** アーです。
「です」という意味です。

(6) 私はテニス選手ではありません。

_____ a tennis player.

happy ハッピー：幸せな

a tennis player プレイヤー：
テニス選手

● **am not** の短縮形は…
ないです。

不安なのは、勝つ可能性があるから。PKをはずしたのは、蹴る勇気があったから。



放課後にする勉強は、 2～3科目を頑張ろう。

あなたは放課後の自学、飽きてしまったり、集中力が続かない…そんなことはありませんか。心当たりがあるならば、1日2～3科目を頑張ってください。1科目だけだと、どうしても飽きてしまったり、得意科目だけで1日が終わってしまった…。というハプニングがあります。科目チェンジをすることで、これらを防ぐことができます。

ちなみに、1時間以上連続でやらないと、勉強とは言えない？いいえ、そんなことはありません。コマ切れ時間も、立派な勉強ですよ。



出典「さよなら私のクラマー」
新川直司氏 講談社 より

01 This is , That is の文 [解答]

[解答] This is , That is の文 01

問題1 (1)これは (2)This is (3)あれは (4)That is (5)That is / That's

問題2 (1)Is this (2)Is that

問題3 (1)This is not (2)That is not (3) is not / isn't (4)That's / isn't (5)That is not / isn't / That's

問題4 (1)Is this (2)Is that (3)Are you (4)Is this pen

(5)Is this dog (6)Is that pretty dog 可愛い犬は、ポチですか

問題5 (1)is not / isn't (2)isn't / is not (3)are not / aren't (4)pen isn't / pen is not (5)aren't (6)I'm not

(例1) I am hungry. という文は、
「私はお腹が空いています。」という意味です。

(例2) I am tired. という文は、
「私は疲れています。」という意味です。

be 動詞(am, is, are)は、
「です、います、あります」と訳しますが、
本質を覚えてください。be 動詞の本質は、
「主語は～の状態にある」ということです。よって、

(例1) I am hungry. は、
「私は、お腹が空いている状態です。」
ということであり、

(例2) I am tired. は、
「私は、疲れている状態にあります。」
という意味なのです。

このように be 動詞(am, is, are)とは、
状態を表すマーカー(目印)なのだ、と思っておい
てください。

● 信じて進めば、いつだって、未来は味方だ。